

学校だより



おっぴ

半田市立乙川東小学校

第11号

令和4年1月7日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう

あけましておめでとうございます
今年もよろしくお願いします

今年の干支は壬寅（みずのえとら）です。寅は強さや行動力の象徴ですが、その中でも壬寅は、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となることを意味するそうです。2022年、子どもたちの内に芽生えた成長の芽がのびのびと育つように、私たち大人はこれからも手を携えて見守っていききたいものです。

さて、新年といえば「目標」です。私も、幼い頃から毎年「新年の目標」を立てては三日坊主で挫けて・・・、を繰り返してきましたが、最近は2つのことに留意して目標を立てるようにしています。それを3学期の始業式で子どもたちに話しました。

（前略）みなさんは忍者を知っていますか。忍者はいろんな術を使うことができます。その術の中に、3メートルもある塀を簡単に飛び越してしまう術があります。ふつうの人だったらできないことですが、忍者は訓練を重ねてこの飛び越しの術を身につけました。

訓練は、まず庭に「麻」という植物の種をまくことから始まります。そして、その種をまいた土の上をぴょんと飛び越すのだそうです。簡単ですね。翌日、種から芽が出ます。また、忍者はその小さい小さい芽の上をぴょんと飛び越します。これも簡単です。次の日、苗は3センチほど伸びています。忍者はまたぴょんと飛び越します。これもまた簡単です。そうして毎日3センチずつ伸びる苗の上をぴょんと飛び越すのを続けるのだそうです。そうやって毎日、麻の苗の上を飛び越しているうちに、麻は3センチずつ伸び、1ヶ月後には90センチの高さになり、3ヶ月後には3メートル近い高さになっています。そして、毎日少しずつ伸びていく苗の上を飛び越すのを続けていた忍者は、知らないうちに3メートルの高さを越せるようになるのです。少しずつでも毎日続けたからできるようになったのです。これを「継続は力なり」といいます。

初めに話をした「目標を立てるために大切な2つのこと」は、この忍者の訓練のように、自分がすることを具体的にはっきり決めることと少しずつでも毎日続けることです。

（後略）3学期始業式より

努力を続けた上での目標達成は、自己肯定感にもつながり、子どもたちがたくましく生きる力となります。子どもたちの目標達成の過程を見守り、励ましの言葉をかけ、共に喜び合うことのできる大人でありたいです。

